令和６年度　地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	きよせ　ゆか	
氏名	清瀬　由香	
所属・役職	株式会社ザップクラップ 取締役 NPO 法人チルドリン徳島 共同創設者 NPO 法人アライブラボ 理事 Code for Tokushima 代表補佐 中小企業 119 IT 専門家	
活動拠点	徳島県徳島市	
略歴	徳島県徳島市在住。 NPO 法人チルドリン徳島を共同創設。働き方改革の一環として、テレワークセンター徳島のセンター長を務める。同時に業務改善の実行支援を行う株式会社ザップクラップを設立と地域コミュニティ「Code for Tokushima」を立ち上げメンバー。オープンデータの活用や市民ワークショップ等を実施。阿波おどりハッカソンから生まれた阿波おどり連レーダー。 2014 年 7 月特定非営利活動法人チルドリン徳島理事長(現在は共同創設者　※令和 6 年 4 月より団体名が変更。NPO 法人ウィズワーク・ラボ) 2014 年 7 月 ｅとくしま推進会議委員(～2023 年 3 月 ｅとくしま推進会議廃止により委嘱期間終了)。 2014 年 10 月 ICT ママ育成スタート 2015 年 2 月 徳島県より「NPO 新人賞」受賞 2015 年 11 月 テレワーク実証センター(現 テレワークセンター徳島)運営管理 (徳島県よりテレワーク推進事業として受託~現在) 2015 年 11 月 ICT ママ養成事業スタート (徳島県より受託～令和元年度) 2016 年 3 月 徳島県ブランド成長戦略委員(現在も継続)。 2017 年 5 月 あなんテレワーク推進センター開設(阿南市より受託～平成 30 年度) 2017 年 5～8 月にし阿波・女性のための新しい働き方普及促進事業 (徳島県西部総合県民局より受託) 2018 年 8 月 シリコンバレー女性グローバルリーダー育成プログラム 「Women’sStartupLab Global Leadership Program」4 期生 2019 年 6 月 とくしま SDGs 未来会議 理事(現任)。	
地域情報化の 専門分野・技術	テレワーク、ワークシェア、人材育成、業務改善	
専門分野	オープンデータＥＢＰＭ（エビデンスに基づく政策立案）ＡＩ活用 生成ＡＩ活用 シェアリングエコノミー 人材（ＤＸ推進のための機運の醸成）　人材（ＤＸに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） デジタルデバイド対策 防災 教育情報化／情報教育 働き方子育て テレワーク 農林水産業 ICT 活用広報	

自治体向けメッセージ		テレワーク推進、ワークシェアリング導入、業務プロセス改善、地域人材育成により、地域のデジタル化を全面的にサポートして参ります。行政、団体、市民との連携を深め、各々が直面する課題に ICT ソリューションを提供し、地域経済を活性化、柔軟な働き方と効率的な業務運営を通じて、市民生活の質の向上を目指す。
関連サイト		株式会社ザップクラップ https://zapclap.com/ チルドリン徳島 https://child-rin-tokushima.com/ 特定非営利活動法人 ALIVE LAB(令和 4 年国土交通省空家対策) https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001604082.pdf 『この街で、母でよかった』と思える徳島市にするための緊急アンケート(徳島市の待機児童問題についての考察) https://www.slideshare.net/yukakiyose/ss-238453409
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	・阿波おどり連レーダー（Code for Tokushima） ・ゴミをいつ捨てれば良いか分かる 5374.jp の徳島版を作成(2017 年 8 月)Code for Tokushima とチルドリン徳島の共同開催イベントで作成。
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	・データアカデミー研修 サブ講師(大阪府堺市)